



ながのはらまち

議会だより

平成28年
1月

第106号

12月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



二度上峠から望む浅間山

目次

- 12月定例会
- こんなことが決まりました・・・2
- 予算を補正しました・・・3
- ここが知りたい！一般質問・・・4
- 陳情の結果・・・10

謹賀新年

本年も長野原町議会を
よろしくお願ひいたします

平成27年度12月補正予算

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		1億2042万円 追加	67億1202万円
特別会計	簡易水道事業	59万円 追加	2億5311万円
	公共下水道事業	74万円 追加	1億1819万円
	介護保険	3千円 追加	4億9056万円
	後期高齢者医療	116万円 追加	8091万円

(万円未満切捨)

12月定例会

12/4
～
12/18

町有地の売却などを
すべて原案のとおり可決しました。

契約の締結

●町道長野原向原線整備事業
(その2) (契約の変更)

【契約の相手方】
群馬県知事 大澤正明

【契約金額】
3億8459万5200円



条例制定

●長野原町個人番号の利用に関する条例

マイナンバー制度の導入に伴い、長野原町で利用する個人番号の適正な取り扱いを確保するため、条例を制定しました。

●長野原町基本財産運用基金条例の一部を改正する条例

鹿島軽井沢リゾート株式会社に貸し付けている鼻曲町有地の賃貸料を基本財産運用基金に積み立てる期間を、平成31年度までとしました。

●長野原町税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正(旧三級品の製造たばこに係る税率の見直し)などに伴い、条例を改正しました。

その他議決事項

●財産の処分

国土交通省が施工する浅間山直轄火山砂防事業の砂防堰堤用地として、町有地を売却しました。

【売却の相手】

国土交通省関東地方整備局
利根川水系砂防事務所長
神野忠広

【売却面積】

13万7517平方メートル
【売却金額】
6136万6992円

●土地賃貸借契約の変更
大字北軽井沢の鼻曲町有地の賃貸借に関する契約を変更しました。

【契約の相手】

鹿島軽井沢リゾート株式会社
代表取締役社長 金井元

【貸付料(年額)】

(変更前) 1億881万6千円
(変更後) 3500万円

【賃貸借期間の終期】

平成32年10月23日まで



【問】黒岩議員 臨時財政対策債の発行限度額が増えた要因は。

【答】総務課長 国の算定が確定したため。

【問】黒岩議員 浅間牧場交差点にある浅間園の案内看板をリニューアルするとのことだが、浅間園の方向性がまだ定まっていないのに看板だけ先行してリニューアルするのにか。

【答】産業課長 そのとおり。

【問】牧山議員 多目的基金と、ふるさと応援基金の残高は。

【答】総務課長 平成26年度末現在、多目的基金は614万417円。ふるさと応援基金は1380万548

4円。

【問】牧山議員 情報化対策費の内容は。

【答】総務課長 吾妻郡内6町村でシステムの共同化を進めており、委託業者が決まった。

【問】牧山議員 現在、長野原町が委託している業者とは異なる業者に決まったので、現在の委託業者から新たな委託業者へデータを移行するための経費。

【問】牧山議員 恋村に設置される地域活動支援センターの改修内容と、改修費の町村負担の内訳は。

【答】町民生活課長 設置町村(嬬恋村)が改修費総額の2分の1(2370万円)を負担する。残額は人口割80パーセント、均等割20

【問】牧山議員 林業従事者の共済補助金が計上されているが、勤務先はどこか。

【答】産業課長 四万林業に1名、吾妻森林整備に1名。

【問】牧山議員 文科省の指導により東中学校の吊り天井を改修することのことだが、吊り天井を補強するのか、それとも撤去するのか。

【答】教育課長 現在の吊り天井を撤去し、照明器具の移設を行う。

【問】牧山議員 介護保険の補正内容と、来年度の支出見込みは。

【答】町民生活課長 今まで介護予防給付として行っていた要支援1・2の訪問看護と通所介護を、平成28年3月から地域支援事業として行う。

来年度の支出見込みは約200万円。

【問】牧山議員 本来、介護保険の中で国が責任をもつてやるべきものが、自治体の責任でやる流れになってきている。今までよりもサービスの質や量が落ちないようにしてもらいたい。

【答】町長 サービスの低下はあってはならないので、注視していきたい。

ここが知りたい!

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問をたずねることです。
12月定例会では5名が登壇し、町政を問いました。
なお、紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

質問者	質問内容	ページ
浅沼 克行 議員	1. ダム関連事業の維持管理費について	5
入澤 信夫 議員	1. 温泉施設の利用補助について 2. 福祉バス事業の周知について	6
牧山 明 議員	1. ダム代替地の鉄鋼スラグについて	7
篠原 茂 議員	1. ダム関連の未着手事業について	8
黒岩 巧 議員	1. 浅間山ジオパークの推進について	9

ここが知りたい!

一般質問



浅沼 克行 議員

問 ダム関連事業の維持管理費の試算を

答 町財政を圧迫しないよう努める

問 長かった八ッ場ダム問題もいよいよ最終章を迎えようとしている。

答 町長 国から今後の町の財政計画を立てていく必要があると考えるが。

これまで、ダム事業、水特事業、基金事業で道路や橋梁を整備したが、これら施設の維持管理費は莫大であり、町の財政を圧迫することは目に見えている。

町長 国から今後の町の財政計画を立てていく必要があると考えるが。また、今後整備される各地区の地域振興施設や公園施設の計画・建設にあたっては、専門的なコンサルタントを交え、施設の運営に伴う維持管理費を検討し、議会にも報告していきたい。

事業、基金事業による生活関連事業が計画され、地元協議が整ったものについては事業着手をし、完成した施設などの維持管理を行っている。ただ、施設などが完成してから数年しか経っていないことや、事業が全て実施されていない今、見込まれる維持管理費を試算することが難しい状況である。今後、財政担当課と協議し、財政計画を立てていきたい。

トを基金に積み立て、将来的に町の財政を圧迫しないよう有効活用していく。

問 今後、町が管理する施設はどのくらいあるのか。新庁舎や住民総合センターにかかる維持管理費も現在より多額になると想定されるが、どのように考えているのか。

答 町長 施設の管理基金を積み立てているとのことだが、使用規定はどのようになっているのか。

問 町の財政が悪化しないようお願いしたい。現在、「一万年本構」が実施されているが、事業主体が明確でない。各地区で試験植樹を行っているが、上手くいっていない。5年先、10年先、この構想が素晴らしいものになるよう地域も協力しなければならぬと思うが、地域の負担にはならないようにしてもらいたい。

答 町長 国が主体で進めている。とても見栄えの良い事業だが、実際には町民の負担になるのではないかと感じられるので、注視していきたい。ただ、これからの地域を救うのは、ボランティア精神だと思っているので、一丸となって桜を守ってほしい。



一本松地区に植樹された桜

ここが知りたい!

一般質問



入澤 信夫 議員

問 高齢者に温泉施設の利用補助を

答 意向調査を踏まえ検討したい

問 応桑・北軽井沢地区の高齢者の憩いの場として、温泉施設の利用補助を行うってはどうか。

行を行っており、平成26年度には延べ約6500人の利用があった。

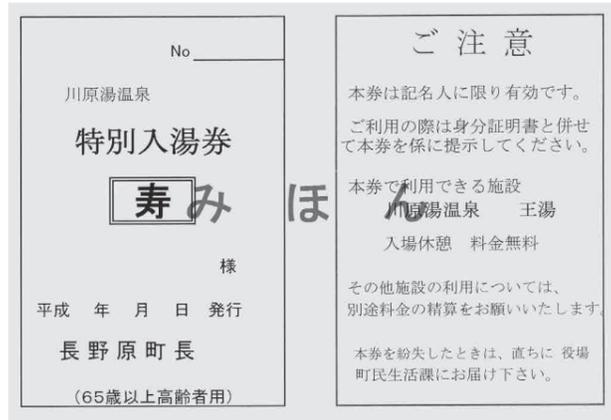
答 町長 現在、健康増進を図ることを目的に、65歳以上の高齢者及び心身障害者の方を対象に、川原湯温泉の王湯を無料で利用できる特別入湯券の発

しかし、応桑・北軽井沢地区の方については、利用される場合でも遠方のため思うように利用できない現状もある。今後は、応桑地区にある日帰り入浴施設への意向調査を踏まえ、検討していき

たい。

問 他町村でも補助を行っているところがある。すぐにも補助をしてほしい。

答 町長 スケジュール的なことは控えたい。私もそのような声は聞いているので、まずは意向調査をしたい。



川原湯温泉特別入湯券

問 福祉バス事業のさらなる周知を

答 より一層の周知に努めたい

問 福祉バス事業をさらに周知してはどうか。

答 町長 現在、在宅で生活する高齢者及び身体障害者の方々の通院支援を目的に、町内を4コースに分け、月に2回運行している。平成26年度には延べ419人の利用があった。

今後は、利用者の声を踏まえ、広報誌などを活用してより一層の周知に努めたい。

問 福祉バス事業は知らない人が多い。近所が利用しているのを知って、自分も利用し始めたという方もいる。パンフレットの配布や、区を通じての周知を。

答 町長 福祉バス事業に限らず、町の事業の周知方法を検討したい。

事業の周知は、包括支援センターの職員による高齢者世帯への訪問相談事業や、民生児童委員へ利用内容を説明し、周知を図っている。また、町のホームページへの掲載や社会福祉協議会との連携も行っている。

ここが知りたい!

一般質問



牧山 明 議員

問 ダム代替地の鉄鋼スラグの撤去は

答 6工事11ヶ所で撤去工事を実施中

問 平成26年の夏、八ッ場ダム代替地造成工事に有害な鉄鋼スラグが使われていたことが、新聞報道で明らかになった。

国土交通省は議会に「年度内に全部撤去を完了させる」と説明したが、進捗状況はどうなっているのか。また、国土交通省

が把握している場所以外のところでも鉄鋼スラグが見つかったと聞いているが、町はどこまで把握しているのか。どのように対処していくのか。

答 町長 八ッ場ダム工事関連の鉄鋼スラグの使用については、全体で19の工事で使用が確認され、その後の土

壌調査などにより、最終的に8工事13ヶ所で基準を超えていたと八ッ場ダム工事事務所から説明を受けている。

また、平成27年2月から3月にかけて、民有地内で確認された3工事4ヶ所の撤去工事を実施し、旧八ッ場館に仮置きし、大同特殊鋼と費用負担などの協議を行った後、長野県の産業廃棄物処理業者へ搬出したと聞いている。

その後、平成27年9月から10月にかけて、4工事6ヶ所の撤去を実施、10月から1工事1ヶ所の撤去を実施中で、残り2工事2ヶ所については土壌汚染対策法の手続き中だが、年度内の撤去を行うとの説明を受けている。

ダム代替地内のこれ以外の場所では川原湯地区で1ヶ所調査中と聞いているが、今後確認された場合は群馬県の環境部局

と連携を図り、しかるべき手順で処理を行い、安心で安全な代替地としていきたい。

問 どこで調査をしているのか

全く分からぬ。国交省任せではなく、町が主体的に調査に取り組んでもらいたい。

答 町長 町なり国なりが、調査地を案内したい。

問 鉄鋼スラグは健康被害だけでなく、構造物にも影響を及ぼす。千葉市でも鉄鋼スラグを用いた舗装がひび割れたりしたため、第三者を含めた検討委員会を発足させ、議論している。

人体に影響が出てからでは取り返しがつかない。町民の生命、財産を守るためにも、積極的な調査と明確な対策方針を



やんば見放台から望むダム本体建設現場

ここが知りたい!

一般質問



篠原 茂 議員

問 ダム関連未着手事業への対応は

答 実施の有無も含めて地元と協議中

問 ダムの完成が5年を切る中で、未着手事業が25パーセントもある。これについて、町の認識と対応は。

答 町長 5地区全体の事業数に占める未着手事業数の割合は25パーセントとなっている。このような状況の中、各地区のダム対

策委員会では実施の有無も含めて協議を行っている。

また、事業着手しているものについても、残された期間の中でスピード感をもって進めるとともに、第二次土地利用計画を基本とした八ッ場ダムと生活再建の完成という大きな目標に向かい、スケジューリング感をもって事業

の推進を図るよう国に強く要請していきたい。

さらに、基金事業の全体計画策定に向けての下流都県協議も、議会八ッ場ダム対策特別委員会及び水没関係五地区連合対策委員会を経て、各地区ダム対策委員会でも説明を行い、了承を頂いている。

今後、ダム湖利用も含めた行政策を示し、各地区ダム対策委員会と協議頂き、議会からもご意見を頂く中で、早期に全体計画をとりまとめた。

問

町が主体で町が施工する事業は、もっと早めに行わなければいけないのではないかと。ダム完成まで残り5年を切る中、本当に間に合うのか。

「ダムを造った町は栄えたことが無い」という話をよく聞きますが、今痛切に感じて

いる。

町の今後を考えれば、千載一遇のチャンスとしてやり遂げなければいけないと思う。少なくとも町主体の事業については、お金をもらって町がやるぐらいの決意でやってもらいたい。

答

町長 町がイニシアチブをとっていかないと間に合わない部分もある。

ダム完成と生活再建の完了が重要なので、そのように進めたい。

たい。

問

現在、日本ジオパークに39地域が認定されており、うち8地域は世界ジオパークに認定されている。

六次産業化や空き家対策と同じく、日本各地で取り組みが行われており、いかに他との差別化を図れるかが重要である。ジオパークという

とどうしても大地のことと思われがちだが、地域づくりや防災教育、観光振興などあらゆる面と関連がある。浅間園再生の切り札にもなると思う。

私は特に、教育分野が重要であると考えている。大島ジオパークでは、小中学生を対象とした体験学習プログラムを用意している。ぜひ、学校教育に関連した活動を。

答

町長 ジオパークは認定あ

ここが知りたい!

一般質問



黒岩 巧 議員

問 浅間山ジオパークの活用方法は

答 町の重要施策として展開していく

パークを町づくりにどのように活かしていくのか。また、町民に理解を深めてもらうための方策は。

答

町長 ジオパーク活動は、地質、地形はもとより、その地域の動植物や生態系などの自然環境、そこに暮らす人々の文化に至るまでが対象となり、

その目的は観光振興のみならず、産業振興、防災、教育など広範囲にわたる。このことから、ジオパーク活動は町の重要施策の一つと位置づけ展開していく。また、現在策定中の第五次総合計画や、地方創生総合戦略の大きな柱となる「移住定住促進」「観光振興」「農業六次産業化」「浅間火山防災」など、ジオパーク活動に関連付けることで一体的に展開することができると考えている。

平成28年3月に認定申請書を提出する予定であることから、今年以上に活発な活動が必要となる。そのため、地域住民の方々のさらなる理解と盛り上がりが必要となってくることから、ジオパークに関する住民向けの勉強会や講演会、模擬ジオツアー、イベントなどを実施してい

りきではないと思っ

問

認定ありきではないと思うが、認定を受けないと始まらないこともあると思う。

今般、世界ジオパークがユネスコの正式事業となったが、ジオパークは4年に一度再審査を受けなければならない。

答

町長 持続性を果たすため、持続性になるような意識づくりをしていきたい。

10年、20年と長いスパンで、子どもたちにも伝えていくことが必要。子どもたちの未来を見据えて取り組んでほしい。



浅間山ジオパークマスコットキャラクター あさマン



町が施工したラインガルテンやんば

みなさんの要望はこうなりました

— 請願・陳情の結果 —

件名	提出者	結果
大津用水路草木原支線のU字溝材料支給についての陳情	大津水利組合長 市村雄平 大津区長 野口善行	採択
長井沢川両岸の護岸改修工事についての陳情	大津区長 野口善行	採択
小倉地区用水路改修についての陳情	横壁区長 萩原廣太	採択

3月定例会の日程

次回定例会は、3月9日（水）、15日（火）、22日（火）に開催予定です。

なお、開会時間は日によって異なりますので、

傍聴を希望される際は事前に議会事務局までお問い合わせ下さい。

傍聴のご案内

議会の様子は、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、議会開催日に直接議場（長野原町役場2階）までお越しください。

- ・予約は不要です。
- ・受付簿に氏名等を記入後、傍聴してください。
- ・会議中の入退室も自由です。



編集後記

明けましておめでとございます。

新しい年が始まり、北海道新幹線の開通や、東京オリンピック開催に向けての広告宣伝をよく目にするようになりました。まだまだ先だと思っていたことが、気付けばもう間近だということはありませんか。何事においても余裕を持って対処したいものです。

昨年11月に、神奈川県箱根町へ防災関係の行政視察に行ってきました。長野原町も昨年3月に地域防災計画を策定し、いざという時に備えています。皆さんも年の初めに、防災について家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

広報委員

委員長 浅沼 克行
委員 牧山 明

浅井 進
富澤 重男